

# 東日本大震災から1年余が過ぎて —川崎重工グループの取り組み—

東日本大震災は企業にとって自らのあり方や使命を改めて考えさせる契機ともなりました。

震災後1年余。川崎重工グループの各種の取り組みを報告します。

## 大規模地震に対する事業継続計画 (BCP) の見直し

事業継続計画(Business Continuity Plan=BCP)は経営戦略そのものです。「防災備品の準備」「避難訓練」等に代表される災害発生直後の危機対応だけでなく、どのようにして事業を継続し使命を果たしていくかを考えなければなりません。当社グループは1995年1月の阪神・淡路大震災での被

災を教訓として防災対策をまとめ、また2009年の新型インフルエンザの流行を機にBCPの整備を進めてきましたが、2011年3月の東日本大震災の発生を受け、大規模地震に対するBCPの見直しを実施しました。

### 1 全社基本方針 川崎重工グループの大規模地震発生時の対応方針を決定

川崎重工グループとして危機発生時の対応方針を明確にするため「全社基本方針」を定めています。人命優先は当然ですが、インフラ産業を担う企業として社会的責任を果たすことを改めて明文化しました。大規模地震発生時には、救援活動に用いられる機器(航空機、艦艇等)の運用支援、インフラ製品(鉄道車両、発電設備、ゴミ処理設備等)の早期復旧・維持整備および顧客・取引先支援などを行います。

全社基本方針

- 従業員と家族の健康、生命を守る
- 社会的責任を果たすため継続しなければならない業務の遂行
- 当社グループの事業活動の正常化
- 地域社会への責任と貢献

### 2 本社および各カンパニー重点項目 全社基本方針を受け、本社および各カンパニーにおいて被災時でも継続する機能を特定

全社基本方針に基づき、本社およびカンパニーでの重点項目を確認し、カンパニーごとに事業形態の違い、製品の特性なども考慮して「災害発生時においても継続しなければならない機能」を特定しました。

### 3 「被災時の対応」と「平時の準備」 災害発生直後の対応と平常時から準備しておくことを検討

首都直下型地震、東海・東南海・南海地震を想定し、「被災時の対応」と「平時の準備」を検討しました。あらゆる項目について、どの部署が何を担当するのか、そのためにはどのような準備をしておかなければならないのかなど、具体的な行動に落とし込んだ計画を作成し、この計画に沿って準備を進めています。

### 4 訓練と見直し 定期的に訓練を実施し、訓練結果を踏まえた見直しを行う

BCPの訓練と、訓練結果を踏まえたBCPの見直しを継続的に実施することとしています。

※BCPについてのさらに詳細な情報はWebに掲載しています。



2011年8月実施の東京本社現地対策本部要員を対象としたシミュレーション訓練

## 被災地の現場から —東北支社長メッセージ—

震災から1年が過ぎ、さらなる復興と発展に貢献してまいります

私どもは震災直後から、東北支社に駐在している者に限らず、関係者全員が、それぞれの立場で社会的責任を果たすべく全力で対応してまいりました。支社には震災当日の夜から被災インフラ設備に対する復旧対応の依頼があり、出社可能な数人とともに、翌朝から被災自治体の担当者と協議を開始し、適時復旧対応を行いました。また、地域貢献の一環として必要な機材を使っただくために多くの自治体他にヒアリングし、がれき処理に使用するホイールローダや破砕機、被災地を効率的に移動し物資輸送を行う二輪車、県民の目となる防災ヘリコプターを無償提供することができました。



東北支社長  
なかもら はやと  
中村 勇人

※被災地での復旧・復興支援については、Webに掲載しています。

## エネルギーの安定供給に関する取り組み

当社グループは東日本大震災でクローズアップされた問題のひとつである「エネルギーの安定供給」をさまざまな形で支えています。

### 震災時の非常用ガスタービン発電設備の活躍

震災とその後の余震で発生した停電・計画停電時の設備の稼働状況を調査したところ、稼働させた非常用ガスタービン発電設備1,035台中、1,034台が順調に給電していました。(稼働率:99.9%)

未稼働の1台は定期整備をしていなかったものです。100%稼働を目指して、非常時でも本当に信頼できる給電体制を築いていきます。



信頼性の高い非常用ガスタービン発電設備

### ガスエンジン発電設備の増産

震災以降、電力需給逼迫を背景に、電力の安定供給を求める声が増しに高まっています。自家発電設備をはじめとした分散型電源への期待が高まる中、当社では環境を損なうことなく電力安定供給に貢献するため、世界最高の発電効率と環境性能を誇る「グリーンガスエンジン」の生産能力を月産4台に増強しました。



世界最高の発電効率49.5%のグリーンガスエンジン

### 電力会社への電力供給

原発停止に伴う電力供給不足への対応要請に応え、明石工場のガスタービン自家発電設備(当社製)の発電出力と発電量を増やし関西電力へ供給しました。

期間は2012年2月1日から3月31日の2ヵ月間、総電力量は約1,600万kWhです。これは一般家庭約2万7千世帯の使用量に相当します。今後も社会状況に合わせて可能な範囲で協力していく予定です。



明石工場ガスタービン発電設備